

作成日：2000年8月24日

改訂日：2021年1月01日

安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名 : 飽和硝酸カリウム (KNO₃) 溶液
パーツNo. : HSG370202
会社名 : 株式会社HIRANUMA
住 所 : 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1739
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : (0120)47-6411 FAX番号 : (029)240-0381

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外
自然発火性液体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 区分外
水反応可燃性化学品 : 区分外
金属腐食性物質 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外
生殖毒性 : 区分2
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分1

環境に対する有害性

水生毒性(急性) : 区分外
水生毒性(慢性) : 区分外

上記で記載がない場合は危険有害性は分類対象外または分類できない。

絵表示またはシンボル



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い 血液の障害 長期または反復暴露による血液障害
注意書き	
安全対策	: 取扱い注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。 取扱い後はよく手を洗う。
救急処置	: 暴露した場合：医師の処置を受ける。 気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
保管	: 施錠して保管する。
廃棄	: 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別

	: 単一製品（水溶液）
化学名または物質	: 硝酸カリウム
成分および含有量	: 硝酸カリウムの約26%水溶液
化学式	: KNO ₃
官報公示整理番号	
化審法	: 1-449
安衛法	: 公表
CAS No.	: 7757-79-1

4. 応急処置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合	: 直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	: 経口摂取すると、メトヘモグロビンを形成し、血圧低下、めまい、頭痛などを起こすことがある。

5. 火災時の措置

消火剤	: この製品自体は燃焼しない。
-----	-----------------

使ってはならない消火剤

: 特になし。

特定の消化方法

: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

: 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

回収、中和

: 漏洩した液は布、紙などで拭き取り、空容器に回収する。漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の措置

取り扱い

技術的対策

: 皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。有機物、硫黄、りん等の可燃性物質と混合しないようにする。

保管

適切な保管条件

: 容器は密栓して冷暗所に保管する。
可燃物を近くに置かない。

安全な容器包装材料

: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等。

8. 暴露防止措置

設備対策

: 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

管理濃度

: 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2009年度版)

: 設定されていない

ACGIH(2009年度版)

: 設定されていない

保護具

手の保護具

: 不浸透性保護手袋

眼の保護具

: ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理・化学的性質

形状	: 液体
色	: 無色
臭い	: 無臭
pH	: 中性
沸点	: 約100°C
融点	: 約0°C以下(硝酸カリウム結晶析出)
引火点	: 不燃性である。
密度	: 約1.16g/ml(25°C)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水 ; 自由に混合

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
反応性	: 還元剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	: 日光、熱
混触危険性物質	: 還元性物質
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 : 区分外 経皮 : データ不足のため分類できない。 吸入(蒸気) : データ不足のため分類できない。 吸入(粉塵・ミスト) : データ不足のため分類できない。 (硝酸カリウムとして) ラット 経口 LD50=3229mg/kg(計算値) ウサギ 経口 LD50=3015mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない。 皮膚感作性 : データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: 生殖機能または胎児への悪影響のおそれの疑い(区分2)
特定標的臓器・全身毒性一単回暴露	: 血液の障害(区分1)
特定標的臓器・全身毒性一反復暴露	: 長期または反復暴露による血液の障害(区分1)
呼吸性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 : 水生毒性(急性): 区分外。
水生毒性(慢性): 区分外。
(硝酸カリウムとして)
甲殻類 (オオミジンコ) LC50=490mg/l/48H(計算値)

残留性/分解性 : データなし。

生体蓄積性 : データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 多量の水で希釈し、pHを中性に調製した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器 : 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制

消防法 : 非該当

道路法 : 非該当

船舶安全法 : 非該当

国連分類 : 分類基準に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法 : 非該当

化学物質管理促進法 : 非該当

毒物及び劇毒物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

船舶安全法 : 非該当

航空法 : 非該当

港則法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献

1) 関東化学(株) 硝酸カリウムのMSDS(整理番号: 32365)

その他の参考文献

2) 関東化学(株) 硝酸イオン標準液(1000mg/l)のMSDS(整理番号：28628)

- * 本製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成されていますが、必ずしもすべての情報を網羅するものではありませんので、取扱いには充分注意してください。また、記載内容は情報提供を目的としたものであり、いかなる保証をなすものではありません。

以上